

- 氏名 : 木本 裕輔
- 会員番号 : PE-0321
- 専門分野 : 機械工学(熱流体)
- 保有資格 : PE Mechanical(Thermal and Fluid Systems)

FE 試験受験 : 2019/2

PE 試験受験 : 2019/10

PE 登録 : 2022/6



1. はじめに

2019年12月にPE試験に合格してから、2年半を要してケンタッキー州登録に至りました。今回は、FE試験、PE試験と順調だったにも関わらずPE登録までに2年半を要してしまった点、あの時こうしていれば良かった点を自らの反省も踏まえながら、本稿でお伝えしたいと思います。

2. 登録までの時系列

- 2019年12月 : PE試験合格
- 2020年6月 : 自力でのPE登録を目指すも情報不足で断念し、JSPEに入会
- 2020年9月 : ケンタッキー州への登録を目指し、州ボードとのやり取りを開始
- 2020年11月 : 学部時代の成績証明書、卒業証明書、JABEE修了証明書をNCEESへ郵送
- 2020年12月 : NCEESよりCourse Description(シラバス)を受け取っていない旨の連絡があり、シラバス翻訳に着手
- 2021年2月 : メンターよりAI翻訳を提案頂き、依頼
- 2021年4月 : 翻訳作業が完了し、NCEESへ郵送
- 2021年5月 : NCEESのCredentials Evaluationの結果、Missing Biology or Chemistryと判断される。
単位不足でもPE登録の可能性があり、登録要件が明確な州を調査し、各州ボードへ連絡
- 2021年11月 : 可能性の高かったメイン州から社会保障番号(SSN)を有さない外国人では登録できないと確定し、モチベーション低下
- 2022年3月 : 8年勤めた会社を退職
- 2022年4月 : 転職を機に一縷の望みにかけてケンタッキー州登録を目指す。
- 2022年5月 : 推薦の依頼と州ボードへの職務経歴等の書類を作成
- 2022年6月 : PE登録の連絡を受ける。

3. Credentials Evaluation

PE 試験合格後は、合格の余韻もあり 3 ヶ月程、放置していました。いよいよ登録しようと思い立ち JPEC の HP(<https://www.jpec2002.org/registration/conditions.html>)に記載の登録要件を確認するも詳細がわからず個人で登録を目指すことに限界を感じたため、JSPE に入会しました。

入会後のメンター制度や体験記等で得た情報を元にケンタッキー州への登録を目指すことに決めました。決断の最大の理由は、ケンタッキー州が MOU を締結しており、かつ、自身がワシントン協定に加盟している JABEE 認定校を卒業していることもあり、州ボードとのやり取りの中で NCEES の Credentials Evaluation(CE)経ずに登録できる可能性があったためです。当時のケンタッキー州ボード担当者からは、NCEES に登録した内容を参照するとの回答があり、書類一式を NCEES へ郵送するも NCEES からは Course Description(シラバス)を受け取っていない連絡があり、CE 無しでは、登録できないことが判明しました。そのため、CE のためのシラバス翻訳に着手することにしました。

表 1 翻訳着手までの経緯

ステークホルダー	2020年				
	9月	10月	11月	12月	1月
木本	メンター依頼	NCEESにケンタッキー州回答の真意確認のため連絡	11月初旬に郵送後もNCEESから連絡無いため、問い合わせ	NCEESの審査結果を確認(コメントに結果を記載)	シラバス翻訳に着手
	登録州の決定(ケンタッキー州)	大学へ学部の成績証明書、卒業証明書、JABEE修了証明書、Transcript Request Form、シラバスの作成依頼			
	ケンタッキー州へ登録要件を問	JABEE修了証明書を翻訳し、大学からNCEESへ送付する郵便物に同封			
JSPE	メンター受託(木本の要望とアライン)			シラバス翻訳の手順と要領をご連絡	
NCEES		Course Descriptions(シラバス)は不要で成績証明書、卒業証明書を大学側から郵送下さいとの回答あり		大学からの書類を審査	
ケンタッキー州	JABEE認定であればNCEESのCE無しで登録可と解答				
大学		大学へ学部の成績証明書、卒業証明書、JABEE修了証明書、Transcript Request Form、シ	学部の成績証明書、卒業証明書、JABEE修了証明書、Transcript Request FormをNCEESへ郵送		

大学からシラバスを取り寄せ独自で翻訳を進めていたのですが、翻訳の証明をどう保証するか思い悩んでいた所、運良く JSPE で開始された **AI による翻訳サービス** をメンターよりご提案頂き、翻訳のご協力を得ることができました。凡そ 2~3 ヶ月で作成から NCEES への郵送が完了しました。翻訳作業中にも必須科目の化学 or 生物が足りない可能性があり、他の単位取得した科目でカバーできないか翻訳を工夫したのですが、やはり、CE の結果、Missing Biology or Chemistry 判断されてしまい大きく落ち込みました。ただ、州によっては、単位不足でも PE 登録ができることがいくつかの体験記でも記されており、ケンタッキー州以外で挑戦することにしました。ケンタッキー州は、過去の州ボードとのやり取りから不信感もあり、避けたのですが、今となっては、そのままケンタッキー州を進めておけば良かったと感じており、最大の反省点です。

州選択では、メイン州、ミネソタ州の HP には外国人の登録に関して寛容である記載があったため、問い合わせた所、ミネソタ州は社会保障番号(SSN)か納税証明書が必要と回答があり即断念しました。メイン州は

州ボードのレスポンスも早く、社会保障番号(SSN)か納税証明書が無くても登録できる様に担当者から議会へ粘り強く働きかけて頂き期待もしていたのですが、現行の州法では許可できないとの回答があり、断念せざるをおえなくなりました。メイン州では4ヵ月ほどやり取りしていた上で登録できないとわかりPE登録への気持ちが切れてしまいました。

反省点：

- ①CEのためのシラバス翻訳に膨大な労力を要すことを体験記からも把握していたので、翻訳を回避する策を優先してしまいましたが、最初からCEを受ける前提で翻訳から着手すべきだった。(急がば回れ)
- ②CEの完了段階でケンタッキー州で登録を進めるべきだった。

4. 州登録

PEの登録活動と並行して転職活動をしており、メイン州で登録できないと判明し落胆した後は、転職活動に重きをおいたため、4ヵ月ほど登録に向けた活動を休止しておりました。その後、現在の会社に入社してから時間的な余裕もできたため、22年の4月末頃から再び活動を再開しました。この段階で候補がケンタッキー州しか無かったため、不信感もありましたが、改めて問い合わせしてみると担当者が変わっており、登録の方法から提出に必要な書類の準備まで懇切丁寧な対応をして頂きました。ケンタッキー州では、以下の手順に従い登録を進めました。4月末から6月末の2ヵ月ほどで登録することができました。

手順：

①外国人向け申請書の入手

下記URLが申請書ですが、編集不可のPDFであるため、州ボードに問い合わせることで編集可能なPDFを送付してくれます。SSN番号を記載する欄がありますが、NCEESのID下4桁で良い。

<https://elsweb.kyboels.ky.gov/kweb/InitialLicensureApplication>

②NCEESのマイページからCEの結果を州ボードに送付

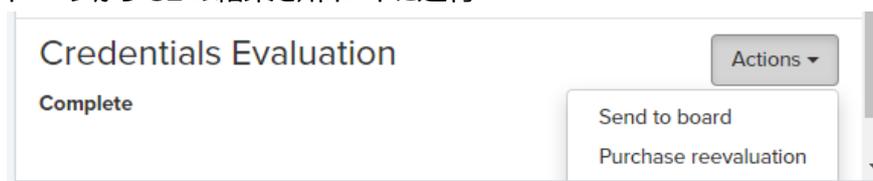


図1 NCEES マイページ

③申請書の作成

④申請書をeメールで州ボードへ提出し、審査料300USドルを支払う。

(支払い方法はクレジットかInternational Money Order)

⑤審査開始後、各推薦者へ州ボードから問い合わせがあり、推薦者から回答が得られ申請書を含めた内容に問題が無ければ2週間程度で登録の連絡

ポイント：

- ・転職活動でこれまでの**職務経験を棚卸し**が出来ており、内容を少しアレンジするだけで、職務経歴の欄を悩まずに埋めることができた。
- ・推薦人は、Experience(職務経歴)で3名、Personal Referencesで5名の計8名にお願いしました。

Experienceは、現職での経験が皆無のため前職の上司にお願いしました。PE試験を合格後に**推薦人が必要であることを当時から上司に相談**していたことが功を奏して、転職後でも快く承諾をしてもらいました。

また、Personal Referencesは5名の記入欄があり、最低3名から返信がもらえれば良い様ですが、念のため5名にしました。5名の内、2名はJSPEの活動を通じて親交を深めたPEホルダーの方に、残り3名は技術士や工学博士を有している前職の同僚にお願いをしました。

ケンタッキー州の推薦人には、米国PEだけでなく日本の技術士も認めてもらえます。

・審査料は対応も早いので**クレジット決済がおススメ**です。(円安の影響で高かった・・・)

5. 終わりに

PE試験合格後から紆余曲折があり、何度も絶望しかけた事もありましたが、『PEになりたい』その一心で登録することができました。PE登録の活動を通じて、最後まで想いを貫き諦めずに粘り強く取組むことが大事であることを改めて学ぶことができ、人としても成長できた気がします。PE登録はPEの始まりに過ぎないので、これからもエンジニアとして世の中に貢献できるよう研鑽を積んでいきたいと思います。

最後に、長きにわたり種々のご助言やご支援をして下さったメンターやJSPEの方々、推薦人を引き受けて下さった全ての方々に厚く御礼申し上げます。

以上